

水産資源調査

I 調査目的

イワシ類、アジ、サバ、スルメイカの資源動態を把握し、漁況予報の精度向上に資するとともに漁業経営の安定に資する。

II 調査内容

1. 調査期間 昭和51年4月～同年12月
2. 調査場所 鯉ヶ沢町，青森市後潟
3. 担当者 調査部技師 小田切 譲 二
部長 斉 藤 重 男
4. 調査項目
 - (1) 漁況調査
イワシ類，アジ，サバ，スルメイカ
 - (2) 多項目調査
体長，体重，性別，生殖腺重量，肥満度，胃内容重量および種類
 - (3) パンチング調査

III 調査結果

1. 漁況調査 (51年1月～10月，県統計)
 - (1) マイワシ……17,660トンで昨年同期の4.3倍
 - (2) ウルメイワシ……18トンで昨年同期の1.6倍
 - (3) カタクチイワシ……2,809トンで昨年同期の1.4倍
 - (4) マアジ……11トンで昨年同期の4.2%
 - (5) スルメイカ……64,155トンで昨年同期の7.3%
 - (6) マサバ……76,968トンで昨年同期の4.4%
2. 魚体調査
 - (1) マイワシ (後潟)
 - A 体長……8.0～23.5cmの範囲に分布し，モードは5，6月の19.0cmが最大で，9月の10.5cmが最小。
 - B 体重……10～165gの範囲に分布。
 - C 肥満度……9.0～17.5の範囲に分布。
 - D 生殖腺……7月以降は1g以下となり，最大卵径は0.81mmで6月26日に出現。
 - (2) カタクチイワシ (後潟)
 - A 体長……6.0～16.5cmの範囲に分布し，モードは5月の15.0cmが最大で，12月の8.0cmが最小。
 - B 体重……2～46gの範囲に分布。

- C 肥満度…… 7.0～11.0の範囲に分布。
- D 生殖腺…… 5月が最大で雌は3.2～4.2 g, 雄は1.7～4.0 g。卵径も5月が最大で, 0.79～0.89 mm。
- (3) マアジ (後 潟)
- A 尾又長…… 5.5～13.0 cmの範囲に分布。
- B 体 重…… 2～22 gの範囲に分布。
- C 肥満度…… 9.5～14.5の範囲に分布。
- D 生殖腺…… 幼魚のため生殖腺が認められず雌雄不明。
- (4) スルメイカ (鱧ヶ沢)
- A 外套長…… 12～31 cmの範囲に分布し, モードは8月の24 cmが最大で, 6月の14 cmが最小。
- B 体 重…… 20～620 gの範囲に分布。
- C 生殖腺…… 8月に成熟した個体が多く, 交接率も高い(30%)。
- D 胃内容…… 消化が進み種類の不明のものが多いが, 判明したものでは魚(イワシ), テミスト, コペポーダがある。
最大胃内容重量はイカを摂餌していたときの15 gであるが, その他は1 g以下が主。
- (5) スルメイカ (後 潟)
- A 外套長…… 5～23 cmの範囲に分布。
- B 体 重…… 6～260 gの範囲に分布。
- C 生殖腺…… 未熟群が主で, 1 g以下の個体が多かった。
雄は6月26日, 雌は7月15日に, それぞれ完熟個体が出現している。
- D 胃内容…… 種類の判明したものはイワシ(カタクチ?)が多く, その他はイカ, テミストであった。
最大胃内容重量はイワシを摂餌していたときの20.5 gである。
- (6) マサバ (後 潟)
- A 尾又長…… 10～28 cmの範囲に分布し, モードは9月の24 cmが最大で, 10月の16 cmが最小。
- B 体 重…… 22～260 gの範囲に分布。
- C 肥満度…… 9.0～14.5の範囲に分布。
- D 生殖腺…… 若魚のため生殖腺が認められず雌雄不明。

※ 詳細については「51年度 沿岸重要資源委託調査結果報告書」を参照ください。